

第12回 現実世界のモデリング —衣笠キャンパスを作る その④—

今日の内容

1. 特定の建物とその周辺の詳細なモデリング
2. 課題について

特定の建物とその周辺の詳細なモデリング

- 各自、前回作り込んだ特定の建物(独自のテクスチャを作った建物)とその周辺を詳細にモデリングする

例えば・・・

- 現在の状況をリアルに再現する(建物や地面等を作り込む)
- 既存の建物の外観を変えてみる、建て替えてみる、新しい建物を建ててみる
- 諒友館前の地下部分を作ってみる

.....

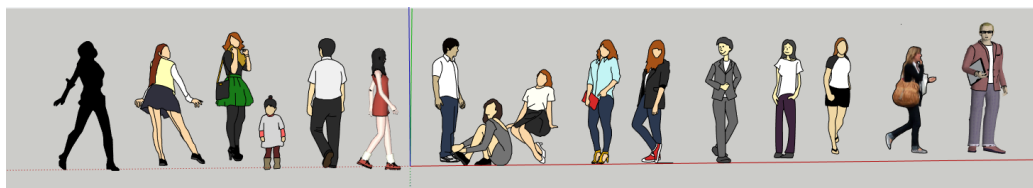
.....

※提出物になるので、ある程度、テーマやコンセプトを考えてモデリングすること。

- モデリングのための情報を収集する
 - 「Bing 地図」などの空中写真の利用(充光館の状況がわかる)
 - 現地での確認や図書館等で資料収集(ただし、**17:00**までに教室に戻る)
- コンポーネントダイアログで、見えそうなモデルを検索・ダウンロードし、配置する
※そのまま利用してもよい。「分解」などで編集することもできる。平面でない、立体的なコンポーネントをたくさん配置すると動作が重たくなるので注意。

検索のヒント

- 「人」や「男」のように一文字では検索できない(「男性」や「人物」などで)
- 「man」や「woman」など英語でも可(ヒット件数はより多くなる)



ダウンロードした人物のモデル

(軸の左の女性と右端の男性は立体的なモデルだが、他の人物はすべて平面(板状)のモデル)

課題についての連絡

今回の提出課題

提出物：衣笠キャンパスのモデル

条件：これまでの4回分（第9回～第12回）でモデリングした要素を含む

これまでの主な内容（参考）

- Google Earth の空中写真
- 建物のモデリング
- 衣笠山のモデリング
- 地面のモデリング
- 地面モデルと衣笠山モデルの統合
- 建物・地面のテクスチャとマテリアル設定
- 衣笠山モデルのマテリアル設定
- 特定の建物周辺の地面の作り込み・樹木の配置・詳細なモデリング

※諒友館前の地下部分の作成は必須ではない（第11回では省略した部分）

※出席していない等の理由で、作成できていない分があれば、教材フォルダの「tkiri」の「配布資料」あるいは、以下のサイトから、配布資料のPDFファイル入手し、作成すること。

<http://www.rgis.lt.ritsumei.ac.jp/~kiri/jugyo/>

提出期限：**7月2日午後1時**

提出場所：教材フォルダの「tkiri」の「衣笠課題」フォルダ

ファイル名：「衣笠課題_氏名.skp」とする

これまでの課題について（第2回・第6回に提示したもの）

これまでの課題のうち、まだ提出していないものについても受け付けるので、未提出の課題がある場合は、同じく**7月2日の午後1時**までに教材フォルダ内の所定の場所に提出すること（提出先・形式等は、これまでの配布資料を参照）。もちろん、提出物の評価に際しては、提出期限からの遅れを反映して減点する。

最終課題について

次回（7月2日）は最終課題の詳細について説明するが、プレゼン（7月16日）まであまり時間がないので、最終課題の題材についておおまかに考えておくこと。最終課題のおおまかな条件は、「中心となるモデルを1つ作成し、その背景となるモデルを複数作成すること」である。建物やジオラマ、人物、モノなど、来週詳細に説明する課題の条件を満たせばどんなものでもよい。ただし、プレゼンまでの作業時間は2週間なので、あまり大きなモデルは作成できない。次回の授業時に、可能であれば、作るために必要と考えられる情報についても集めて持参すること。